

2019 年 4 月 17 日

助成事業実施報告書

団体名.....福島子ども支援・八王子.....

代表者・役職名 氏名 共同代表 近藤波美.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

2018 夏休みふくはち親子交流合宿

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

震災直後、八王子の有志で「子どもたちの未来と自然エネルギーを考える八王子市民講座」を開催し、その中で原発事故の被害により厳しい環境で暮らす福島の子供達や健康被害について悩む母親たちの状況を知り、保養活動を始めたいと当団体を設立しました。現在主要メンバー12名で八王子を中心とする地域の様々な活動団体や学生たち、市民が連携しながら活動を続けています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

福島原発事故の影響に対して不安を持ちながら暮らす福島の親子に対し、子供達への自然遊びと保護者のリフレッシュの機会を提供し、またそうした方々に向けて何らかの支援をしたいと思う八王子など多摩地域の市民との交流を図ることを目的に活動してきました。これまで年2回計12回開催してきましたが、震災後8年を経て社会的な関心が薄まり支援も減少する中で、福島県内では被ばくや健康について話す場も少なくなりぜひ継続して欲しいという親たちの声が多く、また、除染が難しい自然環境の中で、小さな子供たちの自然遊びの機会が求められています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

4月 夏合宿企画案検討。
5月 実施内容詳細及び募集要項決定。福島の保護者向けスタッフ募集。
6月 福島で企画ミーティング&保養相談会開催。
案内郵送、HPや現地保養相談会等で参加者募集。ボランティア募集、
7月上旬 スタッフシフト、食材手配、備品調達など準備作業を行う。
8月5日～8日 福島からバスで町田市立大地沢青少年センターにて合宿実施。
子どもたちには大地沢で外遊びを中心に、ボランティア有志によるミニライブや紙芝居など。保護者向けには学習会・交流会・ケアプログラム、手づくりなどのワークショップを開催。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

福島からの参加者大人17名子ども30名、八王子他多摩地域からのボランティアは、学生25名を含むのべ70名で実施しました。昨年に続き震災後生まれた子供達とその親御さんや、一時避難し福島に戻られた親子さんなど、新しい参加者の方が半数以上に増え新たなニーズが生まれています。子供達は沢でのサワガニ取りに夢中で、こうして安心して遊べることに母親たちがとても喜ばれていました。小さな子供が自然に存分に触れることは健やかな成長に欠かせないことですが、福島では未だ森や沢など自然の中は除染されていないため遊ぶことがままならず、親子共々心ゆくまでしいフレッシュできたようです。加えて不安を抱え孤立する親たちが、同じ思いの親同士やタッフとの交流を通じて、気持ちを分かち合い繋がれることが心の支えとなるとの感想が多かったです。また、ボランティアとして参加している多摩地域の学生と福島の子供達の交流が深まり、学生や子ども達（中高生世代）がこうした活動への意義を考え、自主的に参加していくなど次世代へのつながりもできています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

除染や食の安全が進んだとはいえ、除染のままならない自然環境や子供達の健康影響への不安を抱えて暮らす親たちのストレスはまだまだ続いています。合宿への参加をきっかけに孤立していた親御さんたちが福島暮らしの中で緩やかに繋がり、支え合える関係も生まれてきました。また合宿に参加する市民のみなさんも、同じ思いで共に福島の子供達に寄り添い交流を続けていきたいとの声が多いです。ふくはち合宿を起点にしたこのようなつながりは、大変貴重で温かいものであると改め感じており、今後も出来る限り継続していきたいと考えています。関心も支援も減りつつある被災地への支援や交流の場として貴重な機会であるとともに、今後も八王子・多摩地域で新たにユニークな活動が生まれる場として寄与しています。

7. 参考資料

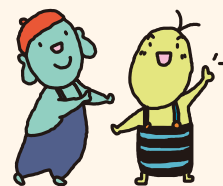
支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり



ふくはち

2018.夏 親子交流合宿



報告書



2018年 8月5日(日)～8月8日(水) 場所：大地沢青少年センター

参加人数 福島市、二本松市、郡山市、いわき市から47名(大人17人/子ども30人)ボランティア70人

第12回目の合宿が無事終わりました！

ごらんのとおり、たくさんの子どもの顔、顔、顔。ママさんたち、ボランティアの学生さんたち、いつもの調理や保育、運営のボラスタッフたちが一堂に会して、真夏の3泊4日を思いっきり楽しんだ最終日の、記念撮影です!!

おおぜいで一緒にご飯を食べたり、スイカやかき氷のおやつ、沢遊びやアスレチック、屋内のイベントでは落語も聞きましたね。おとなはヨガをしたりマッサージを受けたり、深夜まで語り合ったりと、短いながらもいろんな場をもちました。それもこれも、みなさんのご参加・ご協力やご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

前回から福島の親子さんにも参加費として、費用の一部をご分担いただいています。また、例年同様、団体の助成や個人のカンパをいただきながら、全員手弁当のスタッフで、福島からの往復大型バス、宿泊、手作りの食事、イベントの開催等の費用を作りながら、1年に1回の「ふくはち親子交流合宿」を継続しています。赤ちゃんが立派な小学生に、園児が中学生に育った月日が流れました。震災から7年が過ぎたというのに、いまだに「仮設」住宅があり、健康への影響が心配されながら果てしない処理作業がつづく福島原発…。わたしたちは忘れていません。福島と八王子をむすぶ「ふくはち」の交流合宿、来年もつづきます！ぜひ引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

ふくはちの親子合宿は、ふくはちの親子交流合宿は、ボランティアとカンパ、食事自炊による、まさに手づくりの合宿です。放射能を気にせず安心して、子どもは自然の中で外遊び、大人はリラックスして過ごします。食事は、地元農家さんの協力により、新鮮な野菜たっぷりの体にやさしい献立を提供します。0歳からの保育サポートがありますから、赤ちゃん連れも歓迎です！

遊んだ、笑った、楽しんだ～

台風の接近が心配されたものの、前半は外遊び中心、後半はさまざまなイベントで盛り上がりました

オリエンテーション



こんにちは、初めまして!到着の日は全員で自己紹介。ちょっぴりドキドキ、ワクワク。久しぶりに再会して笑顔も

自然に囲まれ 外遊び満喫

こもれびが揺れる緑に囲まれた小川。見て、見て、沢ガニいたよ! つめたくて気持ちいい! おとも子どもも水辺で遊びました



いつも賑やか ぶくはちキッチン!

おいしいごはんこそ元気のもと! 栄養士・調理スタッフが毎食、腕をふるう手作り料理



カレー、サラダ



しじゅうし、OOスープ、漬物

8/5㊤

15:30 大地沢着
オリエンテーション & ウェルカムティータイム
大学生によるアカベラ
19:00 紙芝居&オカリナ演奏

8/6㊤

9:00 プレーパーク&沢遊び
11:00 アロマハンドマッサージ
13:00 落語&腹話術
15:00 かき氷をつくろう
20:00 夜空の観察

8/7㊤

9:00 ボールで遊ぼう
10:00 温熱療法
13:00 パネルシアター&人形劇
15:00 スイカ割り
16:00 アラビア語入門
19:00 星を学ぼう!

8/8㊤

9:00 帰り支度
11:00 バス乗車

お楽しみ企画も 盛りだくさん!

笑ったり歌ったり、じっと聴き入ったり。学んだり、作ったり、リラックスしたり... いろんなイベントもやりましたよ。子どもたちの笑顔がうれしい～☆



落語



紙芝居とオカリナ演奏



パネルシアター



腹話術

星空の 観察

天体望遠鏡で木星を見たよ。本格的な星や天体の解説をしてもらったり、星のマスコットづくりもやりました!



大学生によるアカベラ



バンド演奏(練習合宿に飛び入りで観客に)



ママたちの リラックスタイム



ヨガ



フェルデンクライス体操

アラビア語 入門!?

超レアな語学講座、奈良本先生のアラビア語も。文字は右から書くんだよ～



参加者のこえ

- こどもも大人も元気になった合宿でした!
- たくさん体を動かして、美味しいご飯を食べて、みんなで遊んで、パタリと眠る、、、すっかりリフレッシュしました。
- こどもたちは、自然豊かな中で、学生さんたちと目一杯遊べて幸せそうでした!
- 食堂のふくはちカフェで、自分のペースでコーヒーを飲みながら、他のお母さんやスタッフさんとゆっくり話せて幸せでした。
- 初めての歩様で不安でしたが、親子でとても楽しく過ごせました。初めての保養がふくはちでよかったです。
- ボランティアの学生さんたちが子供達に寄り添ってくれて嬉しかったです。
- こどもと離れて自分の時間が取れてヨガやマッサージなどの時間はとても貴重で嬉しかったです。
- お天気が悪い日も、落語や人形劇、ホールでの遊びなど充実していて良かったです!
- 初参加で小さなお子さんを連れてのママさんたちは不安だと思うので、私たち子供が大きくなったママも、声かけや手伝いを積極的にしていきたいと思いました。
- 春・冬の歩様が少なくなり、心や体のリフレッシュの場が少なくなってきましたが、放射能の害ははっきりわからないので、今後も保養の場が欲しいです。
- ヨガ・温熱・ハンドマッサージ、どれも本当にありがたかったです。普段、自分を見つめる時間も、心の余裕もない中で、久々に自分のことを考えられました。
- 素晴らしい食材や調味料を使った美味しい食事で、心も体も元気になりました。
- まだ福島に帰ってからも色々心配事がありますが、頑張っていきたいと思います!
- 今年もあったかいふくはちで4日間すごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

ご支援・ご協力、心より御礼申し上げます。

毎回、多くの方のお力添えをいただいているからこそ実現できている合宿です。また、町田市には毎回ご後援をいただき、自然豊かな大地沢の施設利用料を免除していただいております。この場をお借りして皆さまに心より感謝申し上げます。

お世話になった方々 (順不同 敬称略)

【施設】町田市立大地沢青少年センター、アミダステーション(延立寺別院)

【ボランティア呼びかけ】はちおうじ子ども食堂/市内栄養士・調理師の皆さん

【大人のためのケア】快医学ネットワーク/イトオテルミーHart療術所

【プログラム】佐々木薫(ドラムサークル)/bird's eye view(アコースティックユニットライブ)/Chiaya(ハーブとうた)/高野瀬明(火起こし体験)/春の星空解説(星の語り部)/八王子協同エネルギー(ロケスト体験)/縄井千乃(布ナプキンワークショップ)/いまここカフェ杜丸/リプトン(カレー)/佐々木晃介(出張コーヒー)

【食材、おやつ】共同購入会・生活舎/イトヨーカ堂南大沢店/鈴木亨(NPO法人YUGI)/長井確晴(NPO法人すずしろ22)/よつば給食株式会社/勝沢朝子(八王子)

【市内農家の皆さん】和田昇(石川町)/谷合一郎(宇津木町)/河井孝之(川口町)/鈴木康久(檜原町)/中西真一(小比企町)/石川研(高月町)/守屋農園(館町)/株式会社FIO(堀之内)/北島あけみ(相原町)/おおるりファーム(町田市)/有機農園けのひ(愛川町)

【広報協力】ほよ〜ん相談会 hand to hand☆kawamata

【その他】カンパをいただいた方々、ボランティアをいただいた方々、カンパジャムを食べてくれた方々



初日のスタッフ集合、顔合わせ

より一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



去年から施設が有料となり、往復のバス代、宿泊施設使用料、保険料、食材費などこれまで以上に経費がかかるようになりました。そのため、福島の親子さんにも参加費をご負担いただくようになりました。今後も息長く続けていくために、どうぞ一層のご支援・ご協力をお願いいたします。ご寄付(カンパ)いつでも大歓迎です。

【カンパの振込先】

郵便振替口座▷名義/福島こども支援・八王子

記号番号/00120-9-450633

◎他金融機関からお振込みの場合

ゆうちょ銀行▷当座預金0450633 店番019

合宿のボランティア・スタッフを募集します!

ふくはち☆親子交流合宿には、学生さんから80代まで、さまざまなボランティアが参加しています。元教員、栄養士、カウンセラー、イラストレーター、子育て中のお母さん、市議員や介護ヘルパーなどなど、1人ひとりちょっとずつ、可能な範囲の力を寄せ合ってみんなで運営している合宿です。合宿中の食事づくり、子どもの保育や見守り、外遊び、大人向けのケアやリラク্সプログラムの提供、食材の提供、車の送迎など、お手伝いを募集しています!企画ミーティングもやっています。お気軽にご連絡ください。



福島こども支援・八王子

検索してね♪



fuku8



住 所 八王子市東町3-4 アミダステーション気付

メール fuku8hachi@gmail.com 電話 080-3307-0427 (近藤)